

令和2年第1回せたな町議会臨時会 第1号

令和2年4月10日（金曜日）

○議事日程（第1号）

- 1 会議録署名議員の指名について
- 2 会期の決定
- 3 諸般の報告
- 4 行政報告
- 5 議案第1号 令和2年度せたな町一般会計補正予算（第1号）

○出席議員（12名）

- | | |
|-------------|-------------|
| 1番 吉田 実 君 | 2番 梶田 道廣 君 |
| 3番 本多 浩 君 | 4番 橋本 一夫 君 |
| 5番 熊野 主税 君 | 6番 道高 勉 君 |
| 7番 大湯 圓郷 君 | 8番 横山 一康 君 |
| 9番 石原 広務 君 | 10番 平澤 等 君 |
| 11番 菅原 義幸 君 | 12番 真柄 克紀 君 |

○欠席議員（0名）

1. 地方自治法第121条第1項の規定により、説明のため出席を求めた者は次のとおりである。

町 長 高 橋 貞 光 君

1. 町長の委任を受け出席する説明員は、次のとおりである。

（1）町長の委任を受けて出席する説明員

副 町 長	佐々木 正 則 君
総 務 課 長	原 進 君
まちづくり推進課長	小板橋 司 君
財 政 課 長	佐野 英也 君
まちづくり推進課長補佐	阪井 世紀 君
商工労働観光係長	撫養 和伯 君

《大成総合支所》

支 所 長 杉 村 彰 君

《瀬棚総合支所》

支 所 長 神 田 昌 君

1. 本会議の事務に従事する職員は次のとおりである。

事	務	局	長	丹	羽	小	百	合	君
次			長	上	野	朋	広		君
事	務	局	総	務	係	原	田	翔	太
									君

◎開会宣告

○議長（真柄克紀君） 皆さんおはようございます。

ただいまの出席議員は12名で定足数に達しておりますので、令和2年第1回せたな町議会臨時会は成立いたしました。

よってこれより開会いたします。

◎開議宣告

○議長（真柄克紀君） 直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元に配布したとおりでございます。

◎日程第1 会議録署名議員の指名について

○議長（真柄克紀君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第117条の規定により議長において3番、本多浩議員、4番、橋本一夫議員を本日の会議録署名議員に指名いたします。

◎日程第2 会期の決定について

○議長（真柄克紀君） 日程第2、会期の決定を議題といたします。

お諮りします。

今臨時会の会期は本日1日といたしたいと思えます。

ご異議ございませんか。

（「異議なし」という者あり）

○議長（真柄克紀君） 異議なしと認めます。

よって今臨時会の会期は本日1日に決定いたしました。

◎日程第3 諸般の報告

○議長（真柄克紀君） 日程第3、諸般の報告はお手元に配布したとおりでございます。

◎日程第4 行政報告

○議長（真柄克紀君） 日程第4、行政報告を行います。

町長から行政報告の申し出がありますので、これを許します。

町長。

○町長（高橋貞光君） それでは1件、新型コロナウイルス感染症対策に係る対応について行政報告をいたします。

本町における新型コロナウイルス感染症対策については、2月25日18時に新型コロナウイルス対策本部を設置し対応策を実施していましたが、2月28日に道内55例目、本町と

しては3例目の感染を最後に新たな感染者は確認されていない状況となっております。これまで町民の皆様には不要不急の外出の自粛、各種事業などの中止や延期、また認定こども園などの保育施設、町が管理する各施設などの一時閉鎖や小中学校の休校など様々な制約をお願いしてきたところであり、感染拡大に至っていないことはひとえに町民皆様の徹底した感染拡大防止へのご協力とご努力によるものでございます。心から感謝とお礼を申し上げます。

政府対策本部は4月7日に7都府県に対し、新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、緊急事態宣言を発出したところであり、北海道においては4月8日から5月6日までを集中対策期間として、引き続き手洗い等の徹底や換気の悪い密閉空間、多数の人が集まる密集場所、間近で会話などをする密接場面を避けるなどの感染防止対策の取組を図ることとされております。さらに緊急事態を宣言した7都府県から他地域に帰省した人などから感染確認が相次いでいることから、宣言地域から訪れた人に対し、2週間の外出の自粛の要請や宣言地域への訪問を控えるよう求めているところでもありますことから、このことについてもゴールデンウィークなどで本町に帰省する方々が増えることが予想されるため、充分注意していただくようお願いをするところでもあります。

今後におきましても北海道との情報共有に努め、あらゆる動向を注視しながら対策を緩めることなく感染拡大の防止に努めてまいります。また国が決定した緊急経済対策については、感染拡大で収入が減少した世帯や中小企業などに対する現金給付など5つの柱を軸に施策を行うこととされており、本町においても国、北海道及び各関係機関と連携を図りながら遅滞なく業務を進めてまいります。

以上でございます。

○議長（真柄克紀君） これで行政報告を終わります。

◎日程第5 議案第1号

○議長（真柄克紀君） 日程第5、議案第1号令和2年度せたな町一般会計補正予算についてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

副町長。

○副町長（佐々木正則君） 今回提案をいたします補正予算につきましては、現在の歳入歳出予算の総額に3,143万6,000円を追加し、補正後の予算総額を89億2,784万2,000円とするものでございます。

その内容でございますが、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、緊急経済対策として、プレミアム付商品券発行事業にかかわる経費の補助につきまして、補正をお願いするものでございます。

内容につきましては担当課長から説明をいたします。

ご審議賜りますようお願いを申し上げます。

○議長（真柄克紀君） 続いて内容の説明を求めます。

佐野財政課長。

○財政課長（佐野英也君） それでは内容についてご説明いたします。4ページをお開き願います。

歳出から説明いたします。2款総務費、1項総務管理費、14目新型コロナウイルス対策費は、目の新設でございます。プレミアム付商品券発行事業補助金3,143万6,000円の追加につきましては、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、小売店や飲食店では、客足が遠のくなど地域経済に大きな打撃となっております。このことから緊急経済対策として、町内で使えるプレミアム付商品券を発行するものでございます。商品券は町内の全世帯が対象で、500円券、13枚ワンセット、6,500円分を5,000円で販売するもので、30%、1,500円のプレミアムとなります。これを2万セット販売するものでございます。なお商品券は、飲食店用と全店対応の2種類があり、1世帯当たり15セットまで購入できますが、1種類の購入する上限が10セットとなっておりますので、2種類を組み合わせる購入することができます。販売期間は令和2年4月30日から5月29日までの予定で、使用期間は7月31日までとなります。また販売場所は、せたな商工会及び大成、瀬棚両総合支所で販売いたします。

これにかかわる歳入でございます。18款繰入金、1項基金繰入金、1目財政調整基金繰入金3,143万6,000円をもって収支の均衡を図ったところであります。

説明は以上であります。

よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

○議長（真柄克紀君） 説明が終わりました。質疑を許します。

道高議員。

○6番（道高 勉君） 予算関係については賛同するものでございます。ただ確認と言いますか、対応策についてお尋ねしたいと思っておりますけれども、飲食店関係の商品券は4,000セット販売するというところでございます。先ほど町長から行政報告もございましたように3密です。要するに密閉、密集、密接という中での国、道も揚げてやってきております。町民にとりましては、やはりこういった状況の中で、何とか飲食店関係を利用してということで、そういう思いの有る方については、一生懸命そういうことでプレミアム券を買ってもらおうということだと思っておりますけれども、ただそういう心配される環境の中で、これは町民が、例えば飲食店関係を利用するにあたりまして、対応策っていうのか、ただプレミアムを売って、はいどうぞということにならないわけです。社会環境がそういうふうになってますから。その辺のことについて、飲食店関係に対しましてどのような対応といいますか、ようするにそういう環境、来てもらえるような環境作りについて、どのような町としての指導と言いますか、考え方を持っているのかお伺いしたいと思います。

○議長（真柄克紀君） 阪井補佐。

○まちづくり推進課長補佐（阪井世紀君） ただ今の質問でございますが、商工会と打ち合わせした中におきましては、体調の悪い方は飲食店の利用避けてもらうというものを、張り紙等

で喚起していきたいと考えております。また飲食店においては、テイクアウトですとか、出前にも対応してるところがありますので、そういったところも利用していただきながら、町内の飲食店にお金が回るような形で対策をしていきたいと考えております。

○議長（真柄克紀君） 道高議員。

○6番（道高 勉君） 今も出前だとか、テイクアウトで、そういうことで売り上げを少しでもということで頑張っておられるところもあるわけでございます。町民の皆さん方が利用してくれるかどうかという飲食店にとりましては、やはり何て言いますか、経費かけながらやっけるわけです。それで今言ったように密集、密接というか、狭い室内の中で、やはり町民に安心してという対応策というものは、独自にルールの徹底と言いますか、そういったものを飲食店の中で図るべきでないかと思うんです。そういう環境もない中で来てください、来てくださいって言って、行ったらもう満員だとか、その辺心配しながらということになるわけです。ですからそういう予防的な対応策と言いますか、そういうのを図りながらプレミアムについて協力してもらおうということになりますと、その辺のことも合わせた中での対応策というものも考えて行く必要があるのではないかと私は思うわけです。今、結構札幌のほうでも道外から来て、また新しく感染が広がってきているということがあるんです。これは町長も言ったように、夏、連休にかけて5月以降、結構、町内に入って来る方々がおられる中で、そういう心配があるわけです。ですから、その辺のことについての飲食店に対する指導と言いますか、そしてそういう環境作りをしながらプレミアムを利用してもらうんだということを図るべきでないかと思うんです。そういうことについてもう1回お伺いしたいと思います。

○議長（真柄克紀君） 小坂橋課長。

○まちづくり推進課長（小坂橋司君） 今、道高議員がおっしゃられた3密、これは基本的なことでございますので、これを注意しながらやっていくというのはもちろんのことでございますので、それは飲食店に徹底してやっていただくように商工会にも伝えたいと思いますし、先日の全員協議会でも言いましたけども、まず販売する段階で飲食店の利用についてという注意事項を、まず買ってもらう方々にはそういうのを配付して、利用する際の注意というのを徹底して、受け入れ側の飲食店におきましても、店頭への注意書き、そして店内での3密を避けながら営業していく、利用してもらうということを徹底してやっていくことを、商工会にも伝えたいと思います。

○議長（真柄克紀君） ほかに。

菅原議員。

○11番（菅原義幸君） 新型コロナウイルスの感染は世界で150万人を超えています。8日に緊急事態を発令した日本でも5,400人、道内では220人を突破しました。その中で感染拡大防止措置とともに、経済的補償対策も重要な課題になっております。そうした立場から本案について町長にその認識をお尋ねいたします。

まず一つは、飲食店用と全店対応商品券に分別しましたが、どちらもプレミアム率は30%であり全く同一内容であります。2種類に分けて発行する意味がどこにあるのか、伺っておき

たいと思います。

2点目、1世帯当たりの販売は15セット、7万5,000円が上限ですが、収入が異なる町民の間で、購入格差が生まれないのかどうか伺います。

以上です。

○議長（真柄克紀君） 町長。

○町長（高橋貞光君） お答えいたします。今回、全店共通と飲食店専用という分け方をいたしました。この目的、ねらいであります。これは前回の全員協議会でもお話ししたましたが、この全店共通は、飲食店でも商店でも使える物であります。飲食店用というのは、商店では使えないということで、必ずこれは飲食店に回るお金ということになります。飲食店が大変今回のコロナウイルスで影響を受けているということから、しっかりとそこにお金を回すという考えでございます。確かに今5,000円を1セットということで販売をすることになります。隣の今金では2万5,000円を1セットにして販売するという、各町、取り組みはいろいろありますが、これはあくまでも一般消費対策ではございません。商店あるいは飲食店が新型コロナで大変影響を受けて、大幅に売り上げを落としているというための経済対策ということでございますので、こういう形にさせていただきました。ご理解いただきたいと思っております。

○議長（真柄克紀君） 菅原議員。

○11番（菅原義幸君） そういうことであるとすれば一つの方法なんです。飲食店用のプレミアム率、これを検討する必要があるんでないかというふうに思うんです。いかがですか。

○議長（真柄克紀君） 町長。

○町長（高橋貞光君） 検討いたしました結果、こういう形とさせていただいたところであります。

○議長（真柄克紀君） 菅原議員。

○11番（菅原義幸君） またこれ以上やると堂々巡りになりますから、答弁伺っておきます。最後の質疑なんです。道内における現在の状況は、感染の第2波を感じさせます。ところが商品券の販売期間を5月29日までの30日間、使用期間を7月31日までの93日間にするのは、あくまでも予定だという説明ではございますが、余りにも短すぎないのかどうか、最後に町長に伺っております。

○議長（真柄克紀君） 町長。

○町長（高橋貞光君） 今こういう大変な状況になっております。できるだけ早く、この1億3,000万というお金を回す必要があるということから期間を設定させていただきました。私たちとしては、半年、1年というそういう考え方も当然あると思っておりますが、しかしそれでは、今大変な時期にお金を回すことができないということでありまして、できるだけ早くということで、この商工関係事業者にお金を回してあげたいという気持ちでございます。

ただ菅原議員おっしゃいましたように、この先、道内においても感染の状況がどう動くかということは、これはなかなか先が見通せない状況になっているところであります。ただそうした中にありましても、さまざま工夫をしていただけて使っていただきたいと考えております。

いずれにしても3密を避けた中で、これは消費される町民の皆様にも工夫をしていただいて、何とか商工事業者を助けるべく商品券を利用させていただきたいと考えているところであります。

○議長（真柄克紀君） 町長お伺いしますけど、この前、全員協議会では、あつてはならないけれど、どうしても延ばさないとならない事態が出た場合はそういうことも考えざるを得ないって回答してるんです。要するに弾力的に運用してくれっていう話に対して、再度回答願います。

町長。

○町長（高橋貞光君） 状況がどう動くかわかりませんが、もし大変な事態が町内において差し迫っているという、そういう状況が確認された場合には、それはその時点でまた柔軟に対応するということになるか思います。

○議長（真柄克紀君） 平澤議員。

○10番（平澤 等君） 私の発言しようと思ったことを今、菅原議員が言ってくれたんですが、実は報道によると隣町では10月末っていう期間を設定している。ただ今回の場合は7月末までということだったんで、先ほど議長申し上げましたけども、今のコロナウイルスの影響によって、3密を避けるということになると、やはり期間限定になると結構無理なことが発生するんでないかっていうことの懸念がある。これはこの前の全員協議会の中でも話したとおりなんです。だから今この決まりを言う段階で一応7月末としますけれどもっていうことの説明があったら、何のことはなかったんですけども、ただ今の段階でこうして緊急対策だから、なんたかんたっていうことで強いるのは、その辺については柔軟に対応していただきたいとお願いしたものでございますけれども、その辺についての回答お願いします。

○議長（真柄克紀君） 町長。

○町長（高橋貞光君） まずお話ししなければならないのは、当町の場合は、陽性患者が3名確認された檜山でただ1町の町でございます。隣はまだ出ておりません。そういった意味で、事業者が差し迫った状況であるかどうかという差は当然、隣とうちとでは有るものと思えます。多分、余裕があるからそういう対応をしたんだというふうに思います。それに比べて、せたな町の場合は、相当打撃を受けているという状況がございます。これは商工会からいろいろ聞き取りをして、被害の調査などもさせていただきました。商工会としてはできるだけ早くお金を事業者に戻してほしいというたつての願い、当然要望も商工会から出ておりますので、そういったことを考慮して、今回、急いでこういう対応を取らせていただきました。商工飲食事業者の経済対策ということで、これはご理解いただきたいと思えます。

○議長（真柄克紀君） 平澤議員。

○10番（平澤 等君） 私もこのプレミアム付商品券については大賛成なんです。やはり経済対策には非常に効果があるということで、私もこの前の全員協議会においても、大変結構なことだと言いました。また北海道内においても各自治体において、かなりこういった経済対策を打ち出している自治体ございますから、これについても先駆けてせたな町も頑張っていた

きたいと思うんです。ただ心配するのは、先ほど同僚議員も申し上げましたけども3密を避ける、そしてまた今回の感染を防ぐ、そして原因、対応、そういうのがいまだ解明されていない中の今回のこういう経済対策のスタートなんです。だから、それによってある町においては、無理にそういったこういう宴会なんかをしてクラスターが発生しまったっていうようなことも聞いてます。そういったことで、町が指導する段階でしっかりとした防衛、防御できる、そしてまた何かあった時にもちゃんと釈明できるような、そういった体制取っておかないと、今回のように飲食店に限る、それから一般に限る、期限付けて早く消化してくれっていう時には、本当に注意してやらないとならないなって思うんです。だからその辺についてちょっと重複しますけども、その辺についてもう1回しっかり守れるんだっていう根拠をある程度示して実施して、内容については賛成なんです。

以上です。

○議長（真柄克紀君） 小坂橋課長。

○まちづくり推進課長（小坂橋司君） 7月31日という設定はしますけども、このコロナの感染状況、国の支援策は日々変わってます。なのでこの全店対応については問題ないかと思えますけども、飲食店のほうについては、本当に状況見ながら対応していきたいと思えますし、先ほど道高議員からの質問にも答えましたとおり、利用者、そして事業者にもいろいろと注意を促して使っていただきたいというふうに考えています。

○議長（真柄克紀君） 石原議員。

○9番（石原広務君） 質問の冒頭ですが、これコンビニエンスストアに置いてありました道から要請された緊急のお知らせっていうチラシなんです。それを受けて、今朝来たら行政報告が机の上にあります。この内容からこういう行政報告に至ったんだっていうふうに感じたんです。違うんですか、道からの要請ありますよね。北海道にお越しになった皆様へって、コンビニエンスストアへ配布になってるんです。地域によって違うかもしれませんが、要は既に国は緊急非常事態宣言出しました。自分も見かけたんですけどコンビニエンスストアの店員さんが、道外からのお客さんが多いんだと。意識過剰になってるかもしれませんが目に付く状況を説明していました。浪速だの東京都内だの、そういう状況の中で、確かに商工会からの要望でこういう形でプレミアム付商品券発行する、経済対策だっていうことは理解できるんですが、全員協議会のときに小坂橋課長が日々状況は変わるんだと。使用期限も状況によっては、延ばす考えもあるということでしたけど、平澤議員も道高議員も菅原副議長もおっしゃってましたけど、今この状況の中で飲食店、確かに厳しいんです。そういう状況の中で飲みに来てください、食べに来てくださいと。飲食店は夜だけではなくて昼間もやってるところも確かにあります。ただ現実問題、この2カ月閉めているという飲食店の方もいらっしゃるんです。だからプレミアム付商品券、確かに町民の方が理解して購入していただいて、それなりの万全の対策を取って、飲みに行ったり、食べに行ったりしていただけるのは、本当にいいことだと思うんですけど、どうなんでしょう、この新型コロナウイルス対策費、また別な方向で、例えば他町の事例、詳しく今は言えませんが、一戸当たり幾ら配ったとか、例えば商品券5,0

00円分、全戸配布したとか、そういうことも2弾、3弾、考える上での今回のプレミアム付商品券の発行、そういうことが基本にあるかどうか、最初確認させてください。

○議長（真柄克紀君） それは質問ですか。この議案に対してでなくて。

○9番（石原広務君） 関連してるでしょ議長。

○議長（真柄克紀君） 関連って言うけど、ちょっと質問と質疑をはっきりさせて。質問の趣旨をもう1回。

○9番（石原広務君） 議長がそうかもしれませんが、町側が回答できるのであれば、それでいいじゃないですか。

○議長（真柄克紀君） だから私にあなたの質問の中身を今何を聞いてくれっていうことをもう1回説明してくださいって言っているんです。私は確認してるんです。

○9番（石原広務君） 今こういう北海道からコンビニエンスストアに緊急のお知らせというチラシが配布になってるんです。現に道外から出て来てるんです。今町が確かに経済対策でこういうふうに打って出ますけど、町内の飲食店を経営している方から不安、心配する声と、既に2カ月にわたって店を閉めてる店もあるんです。今回こういうプレミアム付商品券を発行するに当たって、国の状況がいろいろ変わるでしょうけど、2段、3段も考えた上での今回の商品券の発行なのかっていうことを最初確認させてくださいって言ったんです。

議長ご理解いただけましたか。

○議長（真柄克紀君） わかりましたよ。本当の議案から行ったら若干問題あるとは思いますが、答弁させます。

○9番（石原広務君） どこが問題か言ってください。

○議長（真柄克紀君） これは2つに分かれてます。対応として。今のその道の対応によってそれをという形までいくと。

○9番（石原広務君） それは議長、答弁によって2回目に。

○議長（真柄克紀君） だから私答弁させますから。

○9番（石原広務君） だから質問考えてたんですけど議長。

○議長（真柄克紀君） 小板橋課長。

○まちづくり推進課長（小板橋司君） 今回のこれは町の経済対策としては第2弾になりますけども、第3弾、第4弾の話かと思えますけども、現時点では、まだ具体的には考えてません。

○議長（真柄克紀君） 石原議員。

○9番（石原広務君） 議長ご指摘の質問を次にさせていただきます。今回プレミアム商品券、飲食店用と全店対応商品券、これいろいろ商工会の要望も含めて協議検討された上で、先ほど副議長の質問に答えてましたけど、要望としては飲食店パーセンテージ上げてください。少し上げてほしいっていう要望ありませんでしたか。それを蹴って2種類に分けた。その理由は聞いても同じだと思うんですけど、ようは飲食店が大変な状況だから、だからプレミアム率を少し上げて区別した上で発行していただけないかという要望も確かにあったと思うんです。あったんです。自分は聞き取りしましたから。この2種類に分けた。2種類に分けなくてもいい

んじゃないかっていう意見もあったんです。だから繰り返しになります。堂々巡りになるかもしれませんが、そういうプレミアム率を上げてくださいという要望も検討して、お互い納得したんでしょうけど、町側がその要望を飲めなかった、その理由をお知らせいただきたいと思います。

○議長（真柄克紀君） 町長。

○町長（高橋貞光君） 考え方いろいろあると思いますが、この町のプレミアム部分の予算の中で、経済対策として最大限大きな金額を流通させたい。プレミアム率を上げることによって全体の額は小さくなるということになります。そうすると、やはり今のほうが大きな金額になりますから、それは事業者にとってメリットが、より出てくるということですので、ご理解いただきたいと思います。

○議長（真柄克紀君） 石原議員。

○9番（石原広務君） 先ほど言いました。地域性もあると思うんです。北檜山、瀬棚、大成、地域性もあろうかと思うんですが、繰り返しになります。恐怖心を持ってか2カ月閉めてると。いや町長、本当にあったんです。町長も行ったことのある店です。だから本当に5,000円、3,000円でもいいと。そういう対応していただきたいという要望が確かにありました。その上でどうなのでしょう、これ全員協議会で橋本議員に失礼になるかもしれませんが、そういう趣旨の質問だったと思ったんですが、これ今回のプレミアム付商品券ではなくて、以前から何回かにわたってプレミアム付商品券発行していただいたことがあります。その時に、前回はナンバーチェックしていただけたということでしたが、大型の店舗なのか、その飲食店なのかかわからないですけど、身内、従業員を使って買わせるんです。買った時点でプレミアム率、だから商品が動かない、飲食が生まなくても、その利益だけを求めているそういう事例があるんだよと言う問い合わせがある中でずっと来てます。そういうことが、変にならないような形で本当に経済対策、こういうことに繋がるような形でチェックも含めて、あとはコロナ拡大防止もきちんと町側から指摘指導していただけたような形で、ぜひやっていただきたいと思いますが、いかがですか。

○議長（真柄克紀君） 阪井補佐、明確に答弁願います。

○まちづくり推進課長補佐（阪井世紀君） ただいまの質問にお答えいたします。全員協議会の時もお答えさせていただきましたが、買う人の良心がやっぱり大事だと思っておりますが、商工会にもきちんと買う方、それから使用された部分のチェックはさせていただいて、そういった形にならないように指導していきたいと思っております。

また3密の話になりますが、その辺も含めて商工会と、きめ細かに打ち合わせをさせていただいて販売、それからお金の流通に対策をとっていきたいと考えておりますので、よろしくお願いたします。

○議長（真柄克紀君） ほかに質疑ありますか。

（「なし」という者あり）

○議長（真柄克紀君） なければこれで質疑を終わります。

これより討論を許します。

菅原議員。

○11番（菅原義幸君） 賛成討論を行います。

新型コロナウイルス危機は、感染症として戦後最悪の危機であり、長期にわたることも予想されています。昨年10月実施の消費税増税不況に加えてのダブルパンチであり、全国知事会では、感染防止には国民の理解と協力が不可欠であり、休業などで影響を受けた従業者の損失補償を近く国に対して求めるとされています。私は、自粛要請による直接的、間接的な影響の全体に対して適切な措置が必要だと考えております。したがって、本日補正される3,143万6,000円の予算をより効果的に運用するとともに、今後におきましても、より幅広い、より実効性のある救済策の実施を強く求めまして賛成討論といたします。

○議長（真柄克紀君） ほかにございますか。

（「なし」という者あり）

○議長（真柄克紀君） それではこれで討論を終わります。

お諮りいたします。

本案について、原案のとおり決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という者あり）

○議長（真柄克紀君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎閉議宣告

○議長（真柄克紀君） 以上で今臨時会に附議された案件の審議は終了しましたので、会議を閉じます。

◎閉会宣告

○議長（真柄克紀君） これをもって令和2年第1回せたな町議会臨時会を閉会いたします。どうもご苦勞様でした。

閉会 午前10時41分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和2年4月23日

議 長 真 柄 克 紀

署名議員 本 多 浩

署名議員 橋 本 一 夫